

(参考様式1)

人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(8回目)	更新年月(9回目)	更新年月(10回目)	更新年月(11回目)	更新年月(12回目)
松本市	神林	平成24年8月	令和3年2月	令和4年3月			

計画区域の状況

区域内の農用地面積(市街化区域、再生利用が困難な区域を除く)	337.8 ha
今後、農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1 ha

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手) 別表管理

2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はいるが十分ではない / 担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取 組 事 項	対 応
担い手に集積・集約化する	実施中
担い手の分散錯圃を解消する	実施中
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	実施中
その他〔右欄に自由に記載〕	

4. 3 についての農地中間管理機構の活用方針

取 組 事 項	対 応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	順次
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
その他〔右欄に自由に記載〕	

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

〔国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができま

近い将来農地の出し手となる農業者（氏名）	年 齢	現 状 〔令和元年度〕		計 画 〔令和5年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無		地域における農地の受け手確保策・方針
		経 営 内 容 (作 目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経 営 内 容 (作 目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)		農地面積	貸 付 時 期	
	才		ha		ha	ha		ha	
	才		ha		ha	ha		ha	
	才		ha		ha	ha		ha	
	才		ha		ha	ha		ha	
	才		ha		ha	ha		ha	

筆ごとの具体的な貸付等の計画がある場合は、「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」に記載します。

6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方（地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて）		
取 組 事 項	対 応	コ メ ン ト
生産品目の明確化		
複 合 化		稲作と集団転作を中心として野菜・花卉の栽培を行う。
6次産業化		神林地区の特産の米、麦、大豆、そばの加工販売の検討を行う
高付加価値化		転作品目（麦・大豆・そば）について、適量施肥・適期管理等を徹底し、高品質・多収量の栽培を目指す。
新規就農の促進		担い手の法人・施設園芸農家等で研修等を行い、地域住民とのつながりを作り定着をはかる。
その他〔 〕		農地の貸借は集団転作を円滑に行えるよう地区内の担い手を中心に行う。